

1996年3月25日発行

第3号

縁コロジー

作成・発行：川北 辰実

皆さん、お元気ですか？ たいへん、たいへん、たいへんご無沙汰しています。『縁コロジー・第2号』から、はや一年が過ぎてしまいました。あれから世間では次から次へといろんなことが起きました。「地下鉄サリン事件」「オウム」「金融危機」……「沖縄基地問題」「トンネル崩落事故」、そして今は「住専問題」と……。この数年本当にいろんなことが起きて続いています。しかも最近では起きるサイクルが、はやくなっています。このまいくと、1999年には“ハルマゲドン”がやってくるのかも……。 (なーんて思っていると本当にやってくるのでそんなことは思わないようにしましう。)

私事ではという、4月に長女が小学校に入学しました。と同時に私はPTA一年生に、ついでに一年一組のPTAの学級委員に、もう一つついでにPTAに保健体育部というのがあるのですがその部の部長になりました。なにせ、PTAが何かも学校行事に何かがあるかもまったく知らないくせに引き受けたものですから、もうたーいへん。最初のうちは気持ちに余裕もなく、ただただ、成り行きに身をまかせ流されるだけ。一時はどうなるかと思いましたが、どんなことでも慣れるもので、9月頃にはなんとか自分のペースでやれるようになりました。しかし、すこし落ち着いたのもつかの間、10月には新規に仕事が入り、バタバタと忙しいまま12月にはお歳暮の配達。そして年末の大雪で大みそかまで忙しく過ごしました。今年に入ってから、PTA活動もほとんどなく仕事も落ち着き、暇さえあれば家族や友人とスノーボードに燃えています。



さて、『縁コロジー』なんです、多くの方

々から応援していただいたにもかかわらず今まで出せなかったこと、深く反省しています。

『縁コロジー』を出すまでは、一人でも多くの人に自分の知った事を伝えたい、気づいてほしい、と純粋に思っているつもりでした。しかし、創刊号を出した時、「それって一種の“おごり”じゃないか？」と思い始めました。自分は正しい事を知っている、だからわからない人達にわからしてやろう、教えてやろうという気持ちがあるのではないかと……。考えてみるとそれまでは、「自分が中心になってやらなければ誰がやる。」「もっと自分をいろんな人に知ってほしい。」「自分はこんなにすごいんだぞ。」という感じで“我”が強かったと思います。人に良くみられようとカッコつけていたのでしょう。しかし、肩に力が入り過ぎて無理している自分に気がつき、考え、落ち込み、そして、風邪をひきました。(第2号に書きました)きっと知恵熱みたいなものだったのでしょう。その時に“開き直る”という事に気がつきました。

開き直って頭の中を整理して出来上がったのが『縁コロジー・第2号』。この頃は肩の力もだいぶ抜けてましたが、まだ何かモヤモヤしたものが残っていました。そしてその後の「オウム騒動」。その頃からまた新たな疑問が浮かびあがりました。「自分の知っている事が本当に事実なんだろうか?」「正しい、正しくない、ってどういう事だろう?」と思い始めました。それまでは、いろんな本を読んだり、人の話を聞いたりして、「なるほどそう思うその通りだ。」と思ったことは事実で正しい事だと思っていたような気がします。しかし、所詮、人の受け売りに過ぎず、自分で経験、体験した事以外は事実かどうかわからないし、体験して正しいと思った事でも、他の人にとっては正しくないかもしれない。そもそも、正しいも正しくないも無いのでは?。

そんなこんなといういろいろと思う所があり、畏れ多くて出せずにいました。

今現在辿り着いた答えは、結局、「“今”を生きる」という事です。誰も、何も難しい事を

する必要はないのです。その人の長所も短所も仕事も立場も何もかもひっくるめての“今”がスタート地点。“今”できる事をやればいいのです。過去を責めたり悔やんだりしても過去は変わりません。未来を憂いても未来の事はわかりません。昨日も明日も、1分前も1分後もないのです。“今”この瞬間しか生きられないのです。

有名になるのも、お金持ちになるのも、世間が良くなるのも、地球がきれいになるのも、すべて結果です。決してそうなる事やそうする事が目的ではないのです。一人一人の“今”の

“気”の持ち方次第でその人の過去も未来も、地球の過去も未来も、きっと素敵なものになるはず。

人にはそれぞれその人の果たすべき役割(使命)があると思います。自分がどんな役割を果たすのかわかりませんが、“今”の自分を見つめ直し受け入れた上で、経営者として、親として、男として、人間として、そしてなにより、川北辰実として自分らしく“今”を楽しみながら生きる事が答えをみつける“鍵”のような気がします。そしてその結果、人の和が出来ればいいな、と思っています。

推薦図書

☆サラリーマン金太郎、1～6巻(ヤングジャンプコミックス 本宮ひろ志著・500円)

今まで紹介した本とはジャンルの違う漫画本ですが、私の好きな本です。中学時代から高校時代にかけて、本宮ひろ志の漫画と、矢沢永吉の「成り上がり」が、私にとってのバイブルでした。久々に自分の原点を思い出した本でした。頭休めにどうぞ。

インフォメーション

第五回 宇野正美時局講演会

『まもなく日本、アメリカで何が起きるのか』

日時：4月10日(水) 午後7:00～(6時会場)

会場：亀山市文化会館コミュニティホール

参加費：3,800円

主催・問い合わせ：UNO21の会 事務局(森中)

Tel 05958-2-0102

Fax 05958-3-0706

たくさんの方々から会費をいただいたにもかかわらず、一年間何も出さずに本当に申し訳ありませんでした。深く深く反省しています。

今改めて読み返してみると、この枠の内容も創刊号と第2号とは、かなりトーンダウンしています。そしてまた第3号もさらにトーンダウンしてしまっていますが、今の自分では定期的に発行していくのは無理なようです。ましてや会費をいただくなんて論外です。せっかくのお気持ちを踏みにじる事になってしまいますが、いただいた会費をお返しさせていただきます。本当はもっと早くにそうすべきだったのですが、考えがまとまらず今頃になってしまいました。皆様の暖かいお気持ちだけありがたく頂戴いたします。

また、地球にイイコトやってる会も解散します。(そもそも会自体がなかったのに解散もなにもないのですが……)そしてこれからは、肩書のない川北辰実という人間として魅力ある人物になれるよう行動していきます。

地球にイイコトやってる会も、縁コロジーも自分の成長のためには、たいへんプラスになりました。そしてそう思えるのもいろいろとかかわってくださった方々のお陰と心の底から感謝しています。また、何か書きたくなったら書きますのでその時は読んでやってください。